

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第3回中央地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時		令和6年9月26日(木) 19時00分～21時00分		
開催場所		中央公民館大会議室		
出席者	委員	19人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	3人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 開 会 2 連絡事項 (1) 光が丘周辺地域小・中学校の学習環境のあり方について (2) あいあーるネットからのお願い 3 議 題 (1) 中央地区の課題に対する取組について <ul style="list-style-type: none"> ・防災ガイドについて ・中央地区防災フェスタについて (2) 地域活性化事業交付金について 4 閉 会		

議 事 の 要 旨

主な内容は次の通り。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

鈴木会長よりあいさつをした。

2 連絡事項

(1) 光が丘周辺地域小・中学校の学習環境のあり方について

並木小学校の学校再編に向けた光が丘周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会での検討結果について、担当の学務課から次の通り報告が行われた。

- ・令和4年7月から計9回の検討協議会が開催され、令和6年5月10日に検討結果報告書を教育委員会に提出
- ・令和6年8月の教育委員会定例会において市の対応方針を決定
- ・令和9年4月を目途に並木小学校を閉校し弥栄小学校に再編する
- ・再編した並木小学校児童の進学先は弥栄中学校とする
- ・今後は再編にあたって生じる諸課題について閉校までに対応していく

(2) あいあーるネットからのお願い

あいあーるネット委員から、富士見小学校5年1組が取り組んでいる中央公園の清掃の協力について依頼された。

3 議 題

(1) 中央地区の課題に対する取組について

事務局より資料に沿って防災ガイド及び中央地区防災フェスタについて説明したあと、各実施イベント担当者から企画内容と進捗状況を報告した。

〈主な意見・質疑〉

【防災ガイドについて】

○予算がいくら確保できるかの問題はあるが、担当としては部数はいくつで検討しているのか。

⇒○前回と同じく2万部で検討している。

⇒○仮に2万部の予算が確保できたとしても、本当に2万部必要かどうかは検討する必要がある。資金的な問題もあるが、前回作った分もかなり余っている。余らせてしまうのはもったいない。

⇒○地区内の全世帯に配布したいので2万部としているが、今年1万部作成して、

来年少し時点修正してまた1万部といったやり方もあるかと考えている。

○そもそも中央地区の全世帯数はいくつなのか。

⇒○約19,000世帯ある。そのうち自治会加入世帯は約6,800世帯。

⇒○この防災ガイドを配布することで自治会加入のきっかけにできないか。

⇒○自治会員以外の世帯にどう配布するかという課題もある。確保できる予算の範囲内で作成し、配布方法についても考えていきたい。

○前回作成分がかなり余っているという話だが、なぜ余ってしまったのか検討する必要があると思う。

○ただ配布するだけではきちんと見る人は少ない。地域イベントや講座等で説明する機会を設けないと効果が薄いと思うので、これから検討していきたい。

○1年ごとに作り変えて、カレンダーのような形にすれば見る機会も増えるのではないか。

⇒○予算との兼ね合いもあるが、どのような形がよいか印刷業者とも相談してみる。

【中央地区防災フェスタについて】

○お年寄り体験と避難時の介助方法の体験ブースについて、1人7分だと結構な時間ではないか。

⇒○実際に体験キットの着脱にどのくらいかかるか不明なことと、フロアを歩くことになるため会場が混雑することも想定し、安全に体験できるように余裕を見ている。ただ、混雑状況によってはルートを再検討して、もう少し短時間で終わる形を考えたい。

<決定事項>

- ・会計については、金額が大きいものについては事務局で振込対応、それ以外の細かい支出については、各担当者が後日領収書を事務局へ提出し、精算する対応とした。

(2) 地域活性化事業交付金について

地域活性化事業交付金の申請団体から「子育てマップ作成事業」及び「中央地区防災フェスタ」について、事業内容等の説明が行われた。

【子育てマップ作成事業】

<説明要旨>

中央地区は核家族で子育てをする世帯や転居してくる世帯が多く、保護者が不安なく子育て出来るよう、身近な場所の子育てに役立つ情報が必要である。

そのため、平成 25 年度、26 年度（改訂版）に地域の子育てに役立つ情報を掲載した子育てマップを作成し、公共施設での配架や保健師等による「こんにちは赤ちゃん事業」等で配布を行ってきた。その後、10 年が経過し掲載内容の変化や、様々な情報のデジタル化の動きもあり、改訂版の作成が必要となった。

子育て中の保護者が子育てで不安にならないよう、身近な地域の子育てに役立つ生活情報を掲載した子育てマップを作成すると共に、地区社会福祉協議会と連携して三世代交流事業等で活用することで、子育て家庭への支援を行う。

また、持ち運びし易い大ききさで作成し、QR コードで常に最新情報が入手出来るように改訂することで、安心して子育てが出来る情報を提供する。

<結果>

中央地区に特化した子育て情報というのは他に作成しているところがなく、より身近な情報を得られることで子育て家庭への支援となることが期待できるため、積極的採用とする。

【中央地区防災フェスタ】

<説明要旨>

令和 4 年度の中央地区まちづくりを考える懇談会にて、中央地区は他地区と比べて災害リスクが少ないため住民の防災意識が低いこと、自治会加入率の低さから災害時の「共助」が十分に機能するか懸念があることが課題として示され、その課題解決のために令和 5 年度に中央地区防災フェスタを開催した。

令和 6 年度は内容を変更し、引き続き誰でも参加できる防災について楽しく学べる機会を設けることで、住民の防災意識の向上を図る。

誰でも参加できる防災について楽しく学べる場を設けることで、災害時の備えとなる平時からの住民の防災意識の向上と災害時の共助の大切さを知り減災につながることで、自治会加入促進による地域の防災の担い手の確保を目的とする。

<結果>

防災の取組は継続することが大切であり、誰でも参加できる場を設けることで住民の防災意識の向上に期待ができることから、積極的採用とする。

<全体を通しての意見・質疑>

○子育てマップ作成事業については継続3年の事業となっているのだが、前回から大分時間が空いていても「継続」としてカウントされるのか。

⇒●その通りである。連続して3年でなくても、過去に実績があればそこからカウントされる。

⇒○子育てマップに限らず防災ガイドなど、こうしたマップやガイドというのは古くなれば時点修正が必要になるものである。制度として継続の考え方については検討してもらいたい。

⇒●現在、地域活性化事業交付金の制度を見直すためのワーキングを行っている。地域団体からのヒアリングでも、やはりマップ系の年限撤廃については意見が出ていた。今回の意見も今後の制度見直しの検討材料とさせていただく。

4 閉 会

鈴木会長より、閉会のあいさつをした。

令和6年度 中央地区まちづくり会議委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	鈴木 泰信	中央地区自治会連合会	会 長	出席
2	館脇 智幸	中央地区自治会連合会		欠席
3	鳥海 千秋	中央地区社会福祉協議会	副会長	出席
4	大橋 隆	中央地区民生委員児童委員協議会		出席
5	浅野 耕市	中央地区老人クラブ連合会		欠席
6	岡野 博	中央地区青少年健全育成協議会		出席
7	松田 正則	中央地区健康づくり普及員協議会		出席
8	東使 敏二	中央地区防犯協会		出席
9	河本 喜美夫	相模原交通安全協会		出席
10	武田 守弘	中央地区連合自主防災隊		出席
11	齋藤 啓夫	中央小学校 PTA		出席
12	岡野 智博	弥栄小学校 PTA		出席
13	佐藤 匠	富士見小学校 PTA		出席
14	岡本 和茂	中央公民館	副会長	出席
15	浦上 裕史	中央地区内商店街		出席
16	澤畔 正裕	中央地域包括支援センター		出席
17	藤井 絵美	中央地区民生委員主任児童委員		出席
18	山口 紗永子	中央地区民生委員主任児童委員		出席
19	倉澤 良明	公募委員		出席
20	牛尾 良一	公募委員		出席
21	佐藤 要子	公募委員		出席